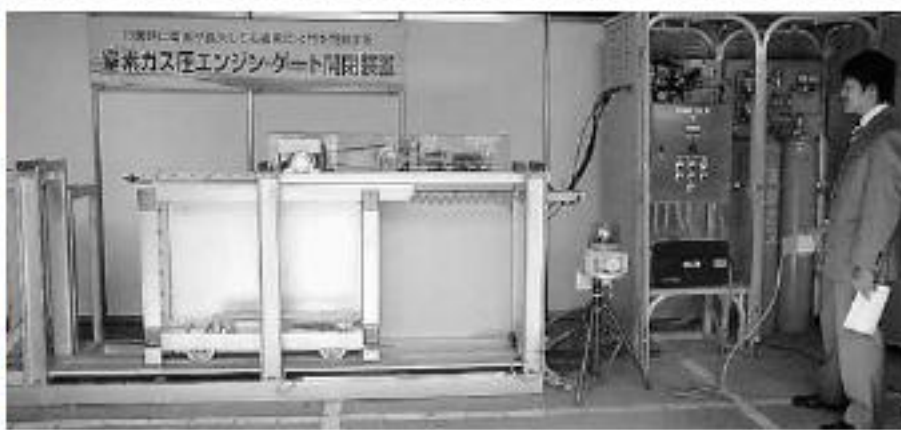


窒素ガスを使って水門を閉める装置。右側のポンベからガスを送ってエンジンを動かす。東京都調布市の消防研究センター



停電しても

水門を開閉

窒素ガス装置開発

窒素ガスの圧力で水門を閉鎖できる「窒素ガス圧エンジンゲート開閉装置」を民間企業が開発した。電気を動力としておらず、地震で停電になっても稼働できる。

窒素ガスの圧力でエンジンのピストンを動かして回転運動に変えて歯車を回し、水門を動かす。窒素ガスの弁の開閉には電気を使うが、太陽電池パネルで発電してバッテリーに蓄えた電気でまかなえる。遠隔操

作も可能で、震度7の揺れでも機能を保てるように設計した。

開発したのはノムラフォース（大阪市西区）と三基工業（愛知県刈谷市）。東日本大震災の際に水門閉鎖するために海に向かった消防団員が津波の犠牲になったことから、停電時でも非常用電源の確保などの手間がかからない装置を開発した。

長さ10メートル、重さ8トンまでの水門を動かせる。価格は2千万円。問い合わせはクライシスマネジメント協議会の流体圧エネルギー活用委員会（06・6536・8689）。